



被災地の子どもたちへXmasカードを被災地の子どもたちが少しでも楽しいXmasを過ごせるようにとの活動に参加しています。ご協力いただいた皆さまありがとうございます。



ライトダウン2014冬至

省エネの大切さを優しく美しく問いかけるイベント。2011夏至以降、毎年2回お手伝いを続けています。



学童まつり

さくら草通りで行われた学童保育の皆さんが集まったイベント。現場の状況のお話もたくさん伺えました。



浦和区民まつり

全会場同日開催となって2年目。各会場で特色あるイベントが行われ、多くの来場者で賑わいました。



敬老会長寿祝い

先輩方からたくさんの元気をいただきました。

小柳よしふみ 地域活動



どんぐり山公園脇通路の安全ポール設置
破損していたポールの再設置。区役所の素早い対応に感謝です。



自立支援施設クリの家

18歳を超えて頼る所がなく、児童養護施設などにも入れない子供たちが働いて自立するための支援をしている施設。継続的に訪問、サポート活動をしています。

みなさんのご意見・ご要望をお待ちしています

お名前

TEL

ご住所

このままFAXでご送信下さい。FAX **048-799-3233**



「後援会イベントでハイ、チーズ！」

市政へのご要望・ご質問は

小柳よしふみ

E-mail info@koyanagi.jp
ホームページ <http://koyanagi.jp/>
ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F
TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233



こやなぎ

小柳よしふみ

小柳よしふみ

検索

市政レポート
2015.1 vol.15

小柳よしふみ 事務所 〒330-0055 さいたま市浦和区東高砂町23-19-2F TEL: 048-799-3232 FAX: 048-799-3233
E-mail info@koyanagi.jp ホームページ <http://koyanagi.jp/> ブログ <http://ameblo.jp/y-koyanagi/>

年頭所感 任期の締めくくりをしっかりと！

～そして、新たな活動へ～

皆さまにおかれましては、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年は、年末に衆議院総選挙が行われるなど、慌ただしい年の瀬であったと思います。ただ、街中で行われている選挙には関係なく、市民生活は流れています。12月定例会中ということもありましたが、そういう認識を持って議員としての活動を行ってまいりました。

12月定例会では、議案80本が無事に可決されました。補正予算として990,148千円が計上され、国の補助基準の変更に伴って幼稚園児の保護者に対する補助金の増額や、埼玉県基金を活用した若者の職業的自立支援などが行われることとなります。(関連記事中面参照)

また、10月25日に行われたさいたまクリテリウムの決算見通しも明らかになり、約500万円の黒字決算の見通しとなりました。本定例会の補正予算においても、来年度へ向けた準備作業の費用や事業費の計上も行われました。同事業も3年目となり真価が問われることとなり、更なるしっかりとした取り組みや工夫が求められます。

2011年にさいたま市議会議員に初当選し、頂いた任期4年も残りわずかとなりました。取り組んできた政策をしっかりと総括して、また新たな活動につなげられるよう頑張っていきたいと思います。小柳よしふみの活動にどうぞご期待ください。

まだまだ寒い季節が続きます。皆様におかれましては、どうぞご自愛頂きますようお願い申し上げます。

- 昭和40年(1965年)8月27日生まれ A型
- 浦和市立高砂小、岸中、県立浦和高、慶應義塾大学商学部卒業。
- 埼玉銀行を経て、警備会社を経営。平成23年5月よりさいたま市議会議員(浦和区)。
- まちづくり委員会(副委員長)
決算行政評価特別委員会(理事)



毎月第3日曜16時から浦和駅西口駅頭でお伝えしています。

さいたま市TOPICS

1 12月定例会が終了

11月26日に開会した12月定例会は、議案80本などを可決して12月19日に閉会した。さいたまクリテリウム関連費用を含む補正予算や懸案となっていた高戸荘の廃止条例議案などが可決されている。(関連記事中面参照)

2 東京駅・品川駅までの 東海道線直通乗り入れ開始

2015年3月14日(土)より高崎線・宇都宮線が東京駅・品川駅までの直通乗り入れ「上野東京ライン」が開業。朝通勤ピーク時(東京駅8時～9時)の直通本数は、両線とも5本。便利になります。

3 県立浦和図書館が閉館へ

埼玉県は、県立図書館の統廃合を行っている。埼玉県議会12月定例会において、図書館の設置条例の一部を改正し、県立浦和図書館の廃止を決めた。(関連記事中面参照)

4 さいたま市・トルーカ市の 姉妹都市締結35周年

浦和市とトルーカ市(メキシコ)の両市が姉妹都市締結をしてから35周年。清水市長、議員団、市民訪問団が記念式典に出席した。小柳よしふみも議員団副団長として参加。(関連記事中面参照)

2014ツール・ド・フランス さいたまクリテリウム



黒字決算(見込)で終了!

本事業の決算は約500万円の黒字になるとの見通しが明らかになった。大口スポンサーの協力もあって、懸念されていた収支の改善が見られた。観客動員数やその経済波及効果の正式発表はこれから。レースの沿道その他、関連イベントの各会場とも大変多くの人で賑わっていた。

今定例会において、来年度開催へ向けての準備関連の予算や事業開催経費の債務負担行為の設定が承認された。予算の都合で進まなかったこれまでとは違い、準備や企画の立案などが早めに来るようになった。より多くの市民のための事業とし、地域経済への刺激、特に各商店街への波及効果の実現に向けた新たな取り組みが求められる。

小柳の
視点

自動車中心の街づくりからの転換や、過度に自動車に頼らない低炭素社会への移行、健康増進、スポーツ振興、観光などの地域経済への波及、シティセールス面での効果など、本事業の持つ可能性は大きく、期待も持てる。ただし、現状では、まだそのポテンシャルを十分に発揮できていない。3年目となる来年は、事業としての真価が問われることとなる。まだ工夫の余地は大いにあり、期待したい。

まちづくり委員会

市の技術系職員の中途採用の 地元企業に対する影響について

Q 技術系職員の中途採用の状況と地元企業への人材面での影響はないか?

A 昨年、大幅増員を行って、その出身内訳は、市内企業5名、県内企業5名、県外企業22人となっている。地元企業の人材育成支援も大事なことであり行っている所です。

小柳の
視点

中小企業にとって、熟練した技術職員は大事に育てた大事な企業資産である。その人材が役所に流出する影響は、忘れてはいけない。技術者不足が叫ばれる中、地元企業の人材育成支援の更なる強化が必要である。

税金の 使いみち は... 12月 定例会 補正予算の特徴

1 福祉・教育 の充実

2 地域経済・ 産業の活性化

① 幼稚園児の保護者に対する補助金の増額	698,672千円	
② 曲本保育園、下木崎保育園の施設整備	179,795千円	〈債務負担行為〉 限度額253,772千円
③ 市立浦和高、大宮北高の定員増に伴う改修修繕等	30,918千円	
④ 理科教育の充実のため、市立4高校の理科備品購入	8,545千円	
⑤ 館岩少年自然の家の耐震補強及び改修工事	6,165千円	
① 2015ツール・ド・フランスさいたまクリテリウムの開催準備	5,000千円	〈債務負担行為〉 限度額325,000千円
② 県基金を活用した、無業状態にある若年者の職業的自立支援	980千円	〈債務負担行為〉 限度額11,987千円
③ 農地台帳システムの改修・整備	5,400千円	
④ 道路、排水路及び管きょ事業について年度末年度始の切れ目ない発注	432,000千円	〈債務負担行為〉 限度額432,000千円

オープン委員会を開催!



筑波大宮駅長を招いて、駅・鉄道が地域のまちづくりに果たす役割や可能性についてご講演を頂いた。都市間競争と言われる中では、地域が広く一体となって価値を高める意識を持たないといけない。この点、中心にある駅の存在は大きく、それは大宮に限ったことではないと感じた。来年130周年を迎える大宮駅。「横浜にも負けない!」という筑波駅長の言葉に大変勇気を頂きました。

しまなみ海道(サイクリングロード) の視察から



しまなみ海道は、瀬戸内海を渡る橋に沿ったサイクリングロードで、愛媛県今治市と岡山県倉敷市を結んでいる。海の島々を渡る道は、他に例も少なく大変特徴的で、台湾の日月潭サイクリングコースと姉妹提携をしている。道路整備だけではなく、サイクルステーションやサイクルセーバー(巡視隊)なども行われていて、サイクリストが楽しめる環境がつけられている。今治駅を降りて駅を出るとすぐに「自転車組立所」が設置されている。

また、GIANTというメーカーの自転車ショップが駅に併設され、レンタサイクルも行われている。まさに自転車の街であることを感じさせ、本市の良き手本になりそうな要素がたくさんありました。

さいたま市・トルーカ市(メキシコ) 姉妹都市締結35周年



昭和54年10月2日に姉妹都市提携を交わしてから35年になります。これまで、市民、行政、議員とが相互に訪問、交流を図り、中でもサッカー少年団の相互交流は、初期のころからの事業であり、多くの少年が参加をしてきた。今回は、環境問題、産業交流、語学をはじめ文化的、サッカー交流、職員の人事交流など7つの項目について意見交換がなされた。

さいたま市、トルーカ市には、多くの共通点がある。それぞれ、東京、メキシコシティという大都市に近接しており、人口規模も近い。政策面も、本市は次世代自動車スマートエネルギー特区の指定を受けて環境先進都市として施策を行っているのに対し、トルーカ市も環境対策が重要なテーマ。自転車利用の推進も行っている点も本市と共通する。ちなみに、トルーカのサッカーチームのカラーは、浦和レッズと同じく赤である。

成長著しく、日本企業を含む海外企業が積極的に進出している街との経済面での交流は、地元企業にとって大きな可能性を秘めていると感じます。また、観光を産業振興の一つの柱に据えている本市にとって、トルーカ市は、国際空港を備えており、市民交流の促進は有益なことと言えます。

県立浦和図書館 廃館が決定

埼玉県は、県内の県立図書館の統廃合を進めてきた。これまで、川越図書館が廃館になっていた。この度、埼玉県議会12月定例会において、条例改正により県立浦和図書館の廃館が決定した。県立図書館の蔵書については、今後さいたま市立の図書館において取り寄せができる措置が進められる。跡地の利活用については、未定。

老人憩いの家 高戸荘 跡地整備計画が示される!



浦和区皇山町にある老人いこいの家高戸荘は、耐震性の問題が指摘され利用が出来なくなっていた。この度、建物の解体や(仮称)皇山地区複合施設整備方針が示された。当該地区は、地区計画によって建築できるものの制限もあり検討が難しかったが、跡地には、保育所と高齢者施設の複合施設が整備される。施設の事業運営者となる社会福祉法人も決定。地域に親しまれる施設になることが望まれる。

浦和駅 西口 高砂自転車駐輪場が 拡充・リニューアル

図のように再編される。それに伴い、利用時間、利用車種及び利用料金等が改められる。屋根付で合計駐車台数が250台増加、トイレや防犯カメラの設置も行われる。また、小型自動二輪車の駐車も可能となる。

